

そう だい
総 題 「イザヤ わが民を 慰めよ」

だいよん か きび みち
第4課 厳しい道

まつ た けん
松田健

いち こんしゅう
1. 今週のテーマ

「神はご自分の子らに、主がお望みになることが最善であることがわかるように、※1明白な証拠をお与えになりました。しかし、彼らは、最初の流れるような優しい神の声を※2拒みました。そこで神は代わりに、大水のどろきと洪水のような声をもって、彼らにお語りになったのでした。今日、私たちは、彼らの失敗から何を学ぶことができるでしょうか？」(聖書研究ガイドp 2 7, 今週のテーマより)

いち めいはく
※1 明白な：はっきりとした

に こぼ き
※2 拒みました：聞きませんでした

に にちようび じつげん よげん なな じゅうよん じゅうろく
2. 日曜日：実現した預言 (イザヤ7：14～16)

イザヤ書 7 章 14 節の聖句を読んで下さい。そしてガイドに書かれている時代背景を読んで理解して下さい。

「(町が) ※3大いなる荒廃がくることを預言していて、※4実現が迫っている中であって、メシア預言が記されていることは何のためでしょうか？ イスラエルが大切にしていた畑などは、彼らが最も※5屈辱的な形で失われていきます。これらの出来事をどう捉えるかは私たちの信仰を神のもとに立ち帰らせることにつながるのか、それとも失わせるものになるのか、選びによって大きく変わると言えるでしょう。その選びをする上で大切となるのは、我らと共におられる約束の方への信仰ではないでしょうか？

さん おお こうはい こわ
※3 大いなる荒廃がくる：あちこち壊されてとてもメチャクチャにされる

よん じつげん せま ほんとう お とき ちか
※4 実現が迫っている：本当に起こる時が近づいている

ご くつじょくてき みじ
※5 屈辱的な：惨めな

さん げつようび よけん けっか なな じゅうなな にじゅうご
3. 月曜日：予見された結果 (イザヤ7：17～25)

「(神様の) 招きの声が次から次へと※6誤りに陥ったイスラエルに送られて、主に忠誠をつくすように訴えた。預言者たちは、※7慈悲深く人々に訴えた。彼らが、人々の前に立って、熱心に悔い改めと改革を勧告した時に、彼らの言葉は実を結んで神の栄光をあらわしたのである。」(国と指導者 上巻p 2 9 0)

ことば かんが くだ
この言葉についてよく考えてみて下さい。

かみさま よげん にんげんてき よてき たよ にんげん わたし み こ
神様が預言されたことよりも、人間的な・世的なことに頼りがちになってしまう人間／私たちを※8見越して、
なお かみさま わたし よげんしゃ た く あらた もと くだ いま よ おな お
尚も、神様は私たちに預言者を立て、悔い改めを求めて下さっています。今の世でも同じことは起こっている
でしょうか？

く あらた よ まね たい わたし よう おうとう かんが
その悔い改めの呼びかけ、招きに対して私たちはどの様な※9応答をしているか考えてみましょう。

よう わたし たい にんたいづよ よげんしゃ あた くだ かみさま わたし よう そんざい い
その様な私たちに対しても忍耐強く預言者を与えて下さる神様は私にとってどの様な存在と言えるでし

よう？

ろく あやま おちい まちが なんど く かえ
※6 誤りに陥った：間違いを何度も繰り返した

なな じ ひぶか あいて たいせつ おも
※7 慈悲深く：相手を大切に思い

はち み こ なお
※8 見越して、尚も、：わかっていても、それでも

きゅうおうとう こた だ
※9 応答をしているか：答えを出しているか

よん かようび なまえ い み はち いち じゅう
4. 火曜日：名前の意味するもの（イザヤ8：1～10）

「アハズがアッシリアに頼ったために、北イスラエル同様、ユダについて予告するイザヤの息子たちの名前は、
『分捕りは早く、略奪は速やかに来る』、しかし『残りの者は帰る』と告げるのです。なぜ希望があったのでしょ
うか。それは、アッシリアの激流がインマヌエルの地にあふれたとしても（イザヤ8：8）、彼らには、『神が我
らと共におられる』（同10節）という約束があったからです。これこそが、イザヤ書全体を貫くテーマです。ユダ
とその他の国々において、神の敵に裁きが下ることがあってもなお、※10戦禍や苦難、そして※11捕囚から彼らを
救い出し、主は忠実な残りの民と共におられ、彼らに故国を回復して下さるのです。」（聖書研究ガイド p

さんじゅう かようび
30, 火曜日から)

しよ まな とき ちゅうしん しそう こころ おぼ なぜ しよ けつ
イザヤ書を学ぶ時に、この中心思想をいつも心に覚えておくべきでしょう。何故ならイザヤ書は決していつ
も喜んで、ハッピーエンドを期待して読める様な記録だけではない書です。しかし※12その真髄には、神の憐れみ
と救いの計画が込められていることを覚えて学ばなければ、神を誤解してしまうことすらあるかもしれません。
かみ しんらい まな みちび いの
神への信頼につながる学びへと導かれるように祈りましょう。

じゅう せんか くらん せんそう くる
※10 戦禍や苦難：戦争や苦しみ

じゅういち ほしゅう つか どれい
※11 捕囚：捕まえられて奴隷となること

じゅうに しんずい しよ ちゅうしん
※12 その真髄：イザヤ書の中心

ご すいようび かみ おそ もの おそ はち じゅういち じゅうご
5. 水曜日：神を畏れる者に恐れはない（イザヤ8：11～15）

かみ おそ にんげん かんが えいえん かみ おそ かみ あい い
神を畏れるとは、人間が考えるべき永遠のテーマです。神を畏れるとは、神を愛することとも言えます。

いち てがみ よん じゅうはち あい おそ かんぜん あい おそ し だ おそ ぼつ
1ヨハネの手紙4：18にも「愛には恐れがない。完全な愛は恐れを締め出します。なぜなら、恐れは罰を
伴い、恐れる者には愛が全うされていないからです。」とあります。

しよ きろく たみ なに おそ かれ なに おそ
イザヤ書に記録されているイスラエルの民は何を恐れていたでしょう？ また彼らは何を畏れるべきだったの
でしょうか？ それでは私たちはどうでしょうか？

このテーマは深く 考 える必要があるのではないのでしょうか？

ろく もくようび ぼうおん たみ はち じゅうろく にじゅうに 6. 木曜日：忘恩の民（イザヤ8：1 6～2 2）

ここではアハズ王も深く関わってしまった神秘主義が、私 たちを神様への 忠 誠から離すものの一つとして 紹 介していました。神秘主義とは形は様々あっても、共 通して目に見える世的なものに私 たちの心 を執 着 させるポイントが変わらずあります。しかしよくよく 考 えてみると、私 たちを神様への 忠 誠から引き離すものは数え切れない程あります。

神秘主義は様々なものに影 響 しているとも 考 えられるものです。

私 たちはどの様にそれらの影 響 から 私 たちや周りの方々を心・信仰を守ることができるのでしょうか？

なな きんようび けんきゅう 7. 金曜日：さらなる研 究

「話し合いのための質問」①について話し合い、聖書から答えを得てみましょう。

そして「まとめ」を読んで 考 えてみましょう。